

留学を終えて

岐阜高等学校 仲澤 早絢（カナダ）

私は、2022年9月から約1年間カナダに留学をしました。留学をすることになった経緯や、留学先での生活について振り返りたいと思います。

まず、私はなんとなく大学生になったら留学したいな、というような漠然とした思いは持っていたものの、高校生のうちにカナダに留学する気はありませんでした。ところがある日、学校の掲示板を見て、高校生でも留学できるということを知ったのです。そのことを両親に話したところ、試験を受けるだけ受けてみたら、と言われたので、説明会に行き、試験を受けることにしました。結果はギリギリで合格でした。オリエンテーションに参加するうちに、最初はあまり乗り気ではなかった留学が次第に楽しみになりました。しかし、出発の日が近づくとつれ、期待と不安、そして何より、家族や友達との別れを悲しく思う気持ちが募りました。

こうして、私は留学することになったのですが、実のところ、留学は楽しいことばかりではありませんでした。

まずはホストファミリーとの関係です。私は最初のホストファミリーとうまくいかず、1度ホストチェンジを行い、その後のホストファミリーとも合わないと思う部分がありました。しかし考えてみれば、もともと赤の他人同士がある日突然同じ屋根の下で生活を共にするわけですから、合わなくて当然です。さらに文化の違いもあり、ホストファミリーに対しては広い心を持って接することが大切だと思います。

次に食生活です。美味しいものももちろんたくさんありますが、カナダの人は野菜をあまり食べません。明らかにカロリーの高いものばかりで、私は留学中に5キロ太りました。学校の運動チームに所属をしなかった私は、これではいけない、と思い立ち、運動不足解消のために、ジムに通い始めました。学校の登下校もスクールバスだったため、部活やチームに参加しなければ、健康のために自ら運動をする意識を持つ必要がありました。

高校留学の良い点としては、まず、学校生活があげられます。授業は必修科目以外自分で好きな授業を選択することができます。カナダの授業は種類が豊富で、日本の普通の高校にはないような授業や、大学のような授業を受けることができます。例を挙げると、心理学、天文学、法学、ビジネス、ボードゲーム制作、車のメンテナンス、グラフィックデザイン、演劇というように、珍しい授業を選択することができます。高校生のうちから、自分の将来の夢に直接的に関わる授業を受けられるので、将来本当に自分がやりたい仕事について、またその仕事に対する自分の適性について考えることができます。

次に、友達です。私の行っていた学校は留学生の受け入れが多い学校だったため、世界中から留学生が集まっていました。留学生が参加できるアクティビティが月に1回くらいあ

ったので、それを通してたくさんの留学生と友達になることができ、カナダ以外のいろんな国の文化も知ることができました。現地の子とは授業のグループワークなどで友達になることができます。特に学校で何らかのチームに所属すると、練習を共にすることで友達を作ることができます。現地の友達を持つと、地元のホットプレイス（話題の場所）を教えてくれたり、ネイティブの使う英語表現やスラングを学んだりすることができます。カナダで出会った人たちとの別れは、とても悲しかったですが、帰国した今でも連絡を取り合い、近況報告をしています。

カナダで過ごした1年は自分の人生の中で、とても色濃く残るものとなり、この経験は一生の財産になると思います。留学をさせてくれた両親には感謝の気持ちでいっぱいですし、私の留学に関わって支援してくださった方々にお礼の気持ちを伝えたいです。

本当にありがとうございました。



